

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2022
November

日中国交正常化50周年記念切手展&ハガキ交流

3年ぶりの夕涼み会

やさしい日本語で防災訓練

イベントレポート 夏休み子ども日本語クラス

国際短大の学生がインターンシップ体験

インターナショナルウィーク

野外交流「中野駅周辺コース」散策

お知らせ 「やよい日本語教室」はじまりました！！

ウクライナ避難民への支援のご協力ありがとうございました
世界の料理講習会

編集後記



「華郵圈」のメンバー 1番左が張建国さん

日中国交正常化50周年記念切手展&ハガキ交流

9月29日(木)～10月1日(土)の3日間、なかのZERO 西館で『日中国交正常化50周年記念切手展&ハガキ交流』が行われました。こちらは、以前、中野区国際交流協会の日本語クラスで勉強をしていた、現在大学院生の張建国さん(ちやうけんこく)の声かけにより、中野区国際交流協会、認定NPO法人東京都日本中国友好協会青年委員会、華郵圏(郵便の愛好家グループ)の共催で実施しました。

昔ながらの切手・郵便という手段を使った日中友好の架け橋となるイベントで、今の若者のパワーが感じられました。これを機に日本と中国の一層の相互理解が深まることを期待しています。

催しの内容

☆一日限定の記念消印(小型印)

中野郵便局の臨時出張所を開設、この日だけの記念消印をサービスしました。記念切手の販売もありました。

☆日中ハガキ交流

中国のイベント会場とオンラインでつなぎ、会場で配布するハガキに祝福するメッセージを書き、中国に住んでいる人たちとハガキを交換するイベントを実施しました。

☆張建国さんによる『あなたがまだ知らない「郵便の楽しみ方」』

富士山に登れなくても山頂の消印を手に入れる方法など、張建国さんが郵便の魅力を語りました。

☆切手デザイナー 玉木明さんによる『記念切手のおはなし』

日本に8人しかいない日本郵便切手デザイナー玉木明さんが、「日中国交正常化50周年」切手をデザインした際のエピソード等、ひとつの切手が出来上がるまでに、さまざまな思いが込められていることを語りました。



今回のイベントのオリジナルハガキ、切手、消印



中国の会場とオンライン



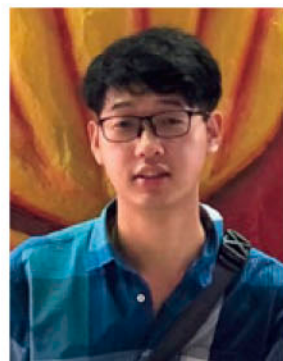
「日中国交正常化50周年」切手を語る玉木さん

華郵圏ってどんな団体？

華郵圏は切手、ハガキ及び消印などを収集する郵便が大好きなメンバーによって構成されているグループです。グループ内では中国語で交流し、中国以外にも日本人がいます。日本の各地に在住しているため、普段はオンラインで情報を交換していますが、定期的にオフラインのイベントも企画し、今までは一緒に富士山登山やディズニーに行ったりしました。その時も必ずハガキを作ってお互い送り合っています。今年の5月に中国の常州との交流イベントも企画しましたが、今回のような大きなイベントは初めてです。

コロナに負けない「郵便」で日中友好交流!! 張建国さん感想

日中国交正常化50周年は日中両国にとっても重要な節目となっています。近年両国の関係やコロナウイルスの感染拡大によって、様々な交流が止まっています。このような状況で郵便が大好きな私たちは、ぜひ何かを歴史に残したいと考えて切手展を企画してきました。作品や展示用のフレームの手配、宣伝等の面で、様々な組織から助けられ、大規模なイベントを開催できました。そして最も力を借りたのはANICの皆様です。会場の提供をはじめ、何度もの会議を経て問題点を解決し、会場の設営やポスターなどに関して細かく議論しました。切手展は華郵圏の5人の若者によって始まりましたが、各関係組織からはプロならのアイデアもいただけてきました。初日のハガキ交流イベントではかなり混雑しましたが、ANICの職員さんの冷静な対応で無事乗り越えました。最終日の切手デザイナーの講演では、会場の付近にこちらこちら宣伝用ポスターが貼られ、会場も盛り上がりました。振り返ってみると、当初提案した私たち5人だけではこのような素晴らしい切手展を開催できません。私はANICで日本語を3年間勉強しました。今回は日本語以外にも勉強させてもらいました。一段成長したとも感じています。初心にかえて、歴史に残るようなイベントが実現され、一生の思い出にもなりました。



3年ぶりの夕涼み会

「夕涼み会」は ZERO 西館で開催する、外国の方が日本の夏の風物詩を体験し、日本の方々と交流する催しです。毎年開催していましたが、コロナ禍でこの2年間開催することはできませんでした。5月、6月にはコロナの感染者が減少してきたので、今年こそは「夕涼み会」をしようとボランティアが準備を進めました。マスクの着用、消毒の徹底、入場者の予約制、人数制限、出し物の限定などの感染予防をボランティアの方々が知恵を絞りながら、外国の方に楽しんでもらえるよう実現にむかってがんばりました。7月に入り、感染者の数が増加に転じてきましたが、想定して準備をしていたので開催することができました。64人（2019年117名）の外国の方を、39人（2019年115名）のボランティアの方々が、工夫を凝らしてお迎えしました。



金曜ボランティアがつくった大人気の千本くじ

輪投げ、玉入れなどの従来の夜店に加え、千本つくりくじ、箱くじなどの新しいだしものを準備しました。特に千本つくりくじの賞品は、協会のボランティアの皆さんから沢山の寄付をいただき、大人気を博しました。ボランティアの方のご指導のもとに、絵てがみ体験コーナー、似顔絵コーナーなどのイベントで、日本の夏の夜を楽しんでもらえるようにしました。子どもはもとより、おとなも童心にかえて楽しんでいました。



鳳蝶美成先生の指導で盆踊り

40名余りの外国の方が浴衣を着て盆踊りを楽しみました。人数制限で浴衣を着られなかった方も、踊りには参加しました。民踊・民舞 あげは 鳳蝶流家元師範 あげはびしょう 鳳蝶美成さん、そのお弟子さん方のご指導のもと、今年は東京音頭を



徹底的に踊れるように練習しました。最初はうまく踊れなかったのが、練習するうちにスムーズに踊れるようになりました。東京音頭の音楽だけでなく、YMCAなどの海外の音楽で東京音頭をおどりました。みなさんおなじみの音楽のリズムにのって、本当に楽しそうに踊っていたのが印象的でした。日本の風物詩である盆踊りで日本の夏をこころいくまで楽しんで、コロナ禍でも良い交流ができました。

コロナ禍で制限があるなか、ANICの中でいろいろな活動をされているボランティアの方が協力していただきました。積極的に活動をしていただいたので、少人数でもスムーズに会が運営できました。みなさんに「開催できて本当に良かった」とおっしゃっていただきました。ご協力いただいたボランティアの皆様に感謝します。

やさしい日本語で防災訓練

9月1日は「防災の日」。それにあわせ、ANICも外国人にもわかりやすいように「やさしい日本語」を介して、地震や火事を想定した訓練を行いました。



子どもも楽しめる「防災ミニトレーニング」を開催 —外国人も地域の担い手に—

秋晴れとなった9月25日(日)10時から、鷺宮西住宅自治会が主催して、「防災ミニトレーニング」が開催され、総勢206名(内外国人137名・日本人69名)が参加しました。

この自治会は、とりわけファミリー世帯の外国人居住の皆さんが多いことが特徴のひとつです。そのことにも配慮した事前の検討がすすみ、外国人の子どもたちも気軽に楽しめる、ゲームやスタンプラリーに加え、起震車体験、初期消火訓練、スタンドパイプからの放水訓練など、やさしい日本語を介して、さまざまに工夫されたメニューでの防災訓練となりました。

終了後にいただいた皆さんのアンケート結果によると、「今回の訓練はとてもよかった」、「防災についてもっと知りたい」、「これからもやさしい日本語を使って話してみたい」といった声が、数多く寄せられました。

この訓練は、野方警察署・野方消防署をはじめ、東京府つながり創生財団、中野区地域活動推進課、(株)ダイナックス都市環境研究所、NPO法人HATIJAPAN 多文化多言語の子ども発達支援、中野区社会福祉協議会に加え、当協会(ANIC)も協力しての催しとなりました。



大地震を想定した避難訓練を実施

9月13日(火)、日本語午前クラスと午後クラスの日本語ボランティアと学習者さんを対象に、約100名が参加しての「震災時避難訓練」を実施しました。

当日は、日本語ボランティアの自主性を発揮しての訓練として、「やさしい日本語」を率先して使い実施しました。

発災直後、机下へ頭を保護する訓練から始まり、なかのZERO西館建物3・4階のANIC会議室から、建物の外に設置されている非常用階段を使つての速やかな避難行動を、学習に居合わせたみなさん全員に体験していただきました。

訓練終了後には、中野区地域防災担当の職員の方より、いざという震災時に備えた心構えや、簡易トイレなどの操作説明をいただき、「大変勉強になった」「日頃からの備えが大切であることを改めて教えていただいた」といった声を多くいただきました。



イベント／レポート

夏休み子ども日本語クラス

今年も7、8月に夏休み子ども日本語クラスを開催しました。コロナの感染拡大のため、全12回を予定していた中、4回は対面、5回はZoomでの開催となりました。残念ながら、例年夏休み子どもクラス最終日に行っている作文のスピーチ発表会「やったね！の会」も中止となりました。

Zoomでの学習の方が、周りに他の人がいなくて集中できる子もいます。一方で、日本語を勉強しはじめたばかりで筆記がおぼつかない子、ネット環境が整っていない子にとってZoomでの学習は難しいです。困難もある中、子どもたちも頑張り、ボランティアの方も尽力してくださいました。コロナが治まり、一人一人が着実に日本語力を伸ばせるような環境であり続けられるようにと願います。



どこが間違っていたかな？テストをして確認中

国際短大の学生が
インターンシップ体験

8月に国際短大の学生2人がインターンシップ体験をしました。例年は「やったね！の会」の準備や運営の手伝い等が多いですが、今回は「やったね！の会」が中止となったため、事務作業が中心となりました。

そのような状況ではありましたが、二人で効率よく丁寧に作業するためにどうすればよいか考えて工夫してくれました。また、「思っていたよりもパソコンだけでない細かい作業が、たくさんあることに気づいた。」「子ども日本語クラスの参加者に、ちょっとしたプレゼントを渡したときに『ありがとう』と言ってもらったことに喜びを感じた。作業を頑張った良かったと思えた」という感想がありました。

5日間と短い時間でしたが、充実した時間を過ごせたようです。



二人で考えてくれた事務所入り口ガラスケース「世界の伝統食品」の展示の前で

インターナショナルウィーク

9月26、27日に中野区役所東側ロビーにてインターナショナルウィークを行いました。

中野区民の方、中野区の職員の方に中野区国際交流協会の活動を知っていただく、とても良い機会になりました。ボランティアがしてみたい、子どもにボランティアを経験させたいなどの相談もありました。来年は以前のように広いスペースを使って、ボランティアの方と一緒に開催できると思いました。



区役所東側ロビーにて

野外交流「中野駅周辺コース」散策

10月8日(土)に中野駅周辺のコースを散策しました。まず、中野区役所の犬屋敷、次に中野サンプラザ、ワールド会館、中野ブロードウェイのコースで回りました。

参加者は中国、ロシア、ウクライナ、日本の方が参加しました。グループに分かれての散策でしたが、クイズを一緒に答えたり、2つの班が一緒に見学したりしたので、皆仲良く楽しむことが出来ました。



中野の「九龍城」・ワールド会館前にて

「やよい日本語教室」はじまりました!!

10月12日(水)より弥生区民活動センターにて「やよい日本語教室」がはじまりました!!
弥生町・本町・南台・中央地区にお住まいの日本語を勉強したい方、お待ちしております!!!



初日の様子。早速、日本語学習に取り組んでいます。

4月から始まっています!
鷺宮地区の方は
こちらどうぞ!

やよい日本語教室

日 第2、4水曜日 大人教室 13:30～15:00
子ども教室 15:30～17:00
場 弥生区民活動センター 洋室2
(中野区弥生町1-58-14)

さぎのみや日本語教室

日 第1、3月曜日 大人教室 14:30～16:00
子ども教室 16:30～18:00
場 鷺宮西住宅第二集会所
(中野区白鷺2-50-11)

ウクライナ避難民への支援のご協力ありがとうございました

2月に発生したウクライナ危機に際し、6～7月につづいた募金について、26,045円が集まりました。中野区内に避難しているウクライナ人にクオカードをお渡しし、残りを日本赤十字社に寄付いたしました。皆様のあたたかいご支援、ありがとうございました。一日も早くウクライナに平和が戻るようお祈りします。



世界の料理講習会～中国・中華まん～

日 11月25日(金) 13:30～16:30 (受付: 13:00～)
申 11月7日(月)～11日(金) 電話・メールにてお申し込みください。
場 東中野区民活動センター 調理室 (中野区東中野5-27-5)
費 1,000円(材料費 等)



抽選で
15名

編集後記

3年ぶりの夕涼みや日中国交正常化50周年記念切手展等、対面でのイベントを開催することができました。まだまだ以前と全く同じに…というのは難しいこともありますが、直接人と人が会い、話すことは、画面越しでは伝わらない明日への活力となるように感じます。(M)

